

本誌はこれまで「認知症」に関して毎年必ず特集を組み、予防期から重度者へのかかわりに至るまで、認知症支援におけるOTの可能性をさまざまな視点でお伝えしてきた。今回は、在宅で認知症の方がその人らしく暮らしていける支援のためにOTがもつべき視点について、多方面の切り口でお伝えいただいた。

コラムでも述べたが、私自身、OTでありながら軽度認知障害の母の状態をどのように捉え、支援するのかとても悩んだ。しかし、今回の内容から、気に留めて母の状態をみて、かかわっていかうと思うキーワードを見いだすことができた。そのキーワードは、「通いの場」、「参加」、「生活リズム」、「工程の障害」、「生活をもみる」である。母の状態を考えると、「通いの場」、「参加」については、数年前よりも外出機会が減っているが、毎日の

買い物や週に1回の体操教室参加は継続している。また、「生活リズム」については、記憶障害の影響もあり、行き当たりばったりで行動するため以前のように多

くの作業をしなくなり、のんびりでほんやり過ごす時間が増えた。これらの状態が母にとって適切かどうかを悩んでいたが、現状よりも低下しないように維持するという見方がかかわりたいと感じた。さらに、「工程の障害」については、生活行為の困難が生じる内容、理由について“なるほど”、“そうそう”と思うことばかりであり、視点の定め方を学ぶ機会となった。

そしてこれからは「生活をもみる」という視点をもちながら、家族OTとして、母の作業のできることでできないことをしっかりみたいとあらためて感じている。現状は、帰省時の料理や買い物等は私主導になっており、母の可能性を探るまでには至っていない。本誌を参考に、母を含め私自身がかかわっている初期認知症の方々の可能性を探り、さらなる支援に役立てたいと感じている。

(竹内さをり)

編集後記

編集顧問

上田 敏 鈴木 明子 寺山久美子

編集委員

江藤 文夫 香山 明美 澤 俊二 竹内さをり
長野 敏宏 中村 春基 西出 康晴 山本 伸一

編集同人

朝田 隆	蟻塚 亮二	石川 隆志	伊藤 利之
伊藤 真美	岩井 和子	岩井 邦寿	宇田 薫
沖田 啓子	片岡 靖子	鴨下 賢一	辛島千恵子
荻山 和生	川本愛一郎	来島 修志	岸本 光夫
窪田 静	相良 二郎	柴田八衣子	島崎 寛将
高島 千敬	鶴見 隆彦	中川 昭夫	仲木 右京
芳賀 信彦	浜村 明德	林 克樹	東 祐二
備酒 伸彦	深浦 順一	二神 雅一	松本 琢磨
松元 義彦	宮田 昌司	村井 千賀	村上 重紀
柳 尚夫	山口 昇	山根 寛	吉川ひろみ
米崎 二郎	渡辺 誠		

(五十音順)

作業療法ジャーナル VOL.53 NO.11 (Oct.)

2019年10月15日発行(毎月1回15日発行)

定価(本体1,800円+税)

年ごめ予約購読料 25,400円+税(送料弊社負担、増刊号含む)

発行 株式会社 三輪書店

代表者 青山 智

〒113-0033 東京都文京区本郷6-17-9 本郷網ビル

代表 ☎ 03-3816-7796 FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

郵便振替 00180-0-255208

(担当: 高野, 森山)

Email otj@miwapubl.com

印刷所 三報社印刷(株) ☎ 03-3637-0005

広告申込所 (株)文京メディカル ☎ 03-3817-8036

本誌の内容の無断複写・複製・転載は、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.

6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, © 2019, Printed in Japan

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。